



JA 筑前あさくら

特集

食と農の未来を発信

全力!! 自己改革Vol.3

新選果場スタート!



目次

特集「食と農の未来を発信

新選果場スタート!」 2

生産者訪問

「日々挑戦! 次世代に誇れる産地づくり」 4

第24回通常総代会 6

いつでもどこでも手軽に体操 8

あぐりキッズ写真館 9

輝け! スマイル・農業ヘルパー募集のお知らせ 10

女性部きらり・JAあさひな通信 11

トピックス 12

普及指導センター営農講座 14

営農センターだより・家庭菜園 15

今月の夏ご飯 16

みんなのひろば 17

イベントインフォメーション・おすすめ旅行 18

クイズ?頭の体操・理事会だより・概況 19

旬素材・畜産物指定農薬の

購入についてのお知らせ 20



新 選果場スタート!

JAでは、農業者所得の向上に向けた生産販売体制の検討を進める中で、より効率的な農産物の集出荷体制の再構築を図るため、新たな選果施設の計画を検討してきました。そのような中、旧朝倉農業高校跡地に建設を進め、中央選果場が3月に完成しました。6月9日には竣工式が行われ、7月10日の梨「幸水」の出荷式で本稼働しました。JAは今後、選果場を拠点に、輸出に向けた販売体制を強化し海外での果実の消費拡大と農業者の所得増大を目指します。また、集出荷施設を集約することで営農指導員の体制を見直し、指導、販売力強化や農産物の生産力拡大にも努めていきます。選果場をJA筑前あさくらブランドの新たな発信地として、さらなる産地基盤の強化に取り組んでいく考えです。



海外展開へ加速！輸出に向けた取り組み

選果場を拠点に、海外への輸出を実現。予冷施設の設置など、輸出への充実した設備を搭載し、販売体制の強化に努めます。柿は現在、ロシア、タイ、シンガポール、香港へ輸出しています。昨年10月にはアメリカ向け輸出の解禁を受け、米国動植物検疫局の関係者が園地を視察しました。早ければ今年産産からアメリカへの輸出を実現します。梨は今シーズンから福岡県内で初となるベトナム向けの輸出に本格的に乗り出します



デパレタイザー

垂直搬送機

中央選果場の概要

- 敷地面積：約2万100平方メートル
- 延床面積：8264平方メートル
- 鉄骨2階立て構造
- 処理能力：日量63トン(ピーク時)



住所 朝倉市三奈木 3060-2 ☎ 0946-23-8340

大人気

梨の直売所

選果場内の産地直売所で梨の販売を行っています!

◆お問い合わせ 同上 (午前10時~午後4時)

※出荷状況によって営業時間が異なります。

8月12日~16日は休みとさせていただきます。

選別機



無落差式選別機＝フラットソーター。多品種対応で汎用性がある選別コンベヤー。シンプルな機械構成ながら高能力で従来の選別機にはない省エネルギー、省音の効果を持つ次世代型選別機です。

高精度の一体型、外部+内部センサー



外部センサーの上面高性能カメラで瞬時に果実の外観を計測。果実の正確な外形を捉え、高精度な階級選別を実現します。内部センサー（近赤外線方式による非破壊式内部計測装置）による光の吸収具合で、果実内部の成分量や状態を即座に計測することが可能です。

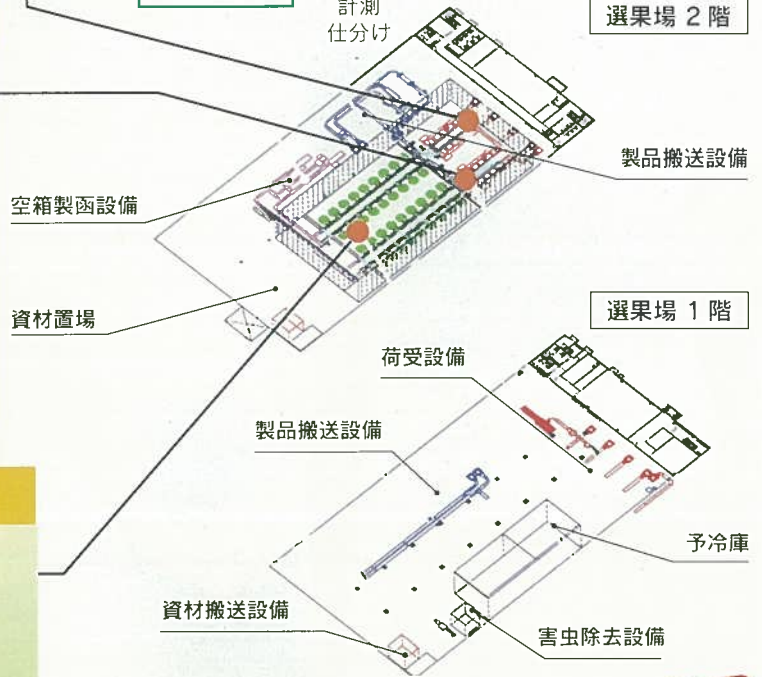
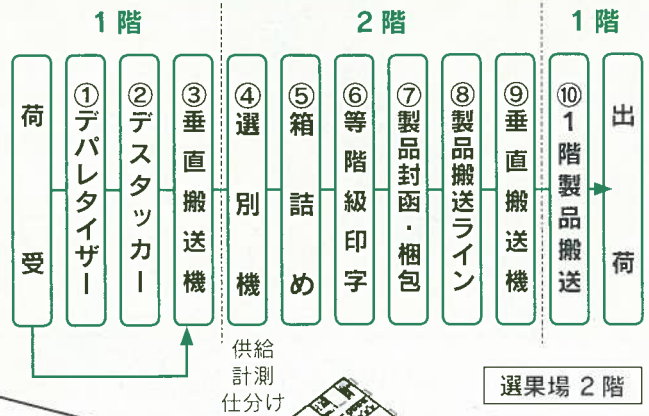
赤外線方式による非破壊式内部計測装置）による光の吸収具合で、果実内部の成分量や状態を即座に計測することが可能です。

選果機



果実は供給部に載った状態で排出され、箱詰部まで搬送されます。排出時に落下、ぶつかりがないため実が傷まず、品質の価値を落とさずに選別が可能です。また箱詰部では、選果員の行き来がしやすいよう、十分な作業スペースを確保しています。

施設の流れ



快適な室内環境に徹底した環境管理

選果室には空調を設置。室内はパネルおよびカーテンで仕切ることにより、クリーンで快適な作業空間を実現しました。



衛生対策としてゴミやホコリを飛ばすエアシャワーも完備



これで安心

高値取引による所得向上を期待

梨部会
井上 常人部会長



選果場は、徹底された環境管理で人にも農産物にも安全に考慮された施設であり、それが一つの目玉だと思います。安全・安心な農産物を消費者に届けられることができると市場からも期待されています。消費者に喜んでいただくことはもちろんですが、生産者として望むことは高値取引の実現によっていかに所得の確保につながるか、一番はそこに期待したいと思います。

選果場から朝倉産の柿を世界へ

柿部会
関屋 純男部会長



輸出には検疫など、様々な厳しい条件があります。単価の向上は最低限に、輸出による費用対効果をどれだけ得ることができるのか、輸出によって生産者のメリットにつながることを望みます。これから柿の収穫、出荷を迎えますが、国内だけではなく、多くの消費者の皆さまに胸を張って朝倉産の柿を誇れるよう栽培に励みたいです。

有利販売につなげ農業に希望を

経済担当常務理事
星野 正徳



選果場の施設再編による選果体制を整備することで、効率的な運営を図りたいと考えています。数ある産地の中から消費者に選んでいただけるよう、JA 筑前あさくらブランドを確立し No.1 の産地を目指します。後継者や若い人が農業に希望を持ってもらうことはJAの役目でもあります。生産者の方が大事に育てられた農産物を有利販売することで生産者の所得向上につなげ、農業への活力となるよう努めます。